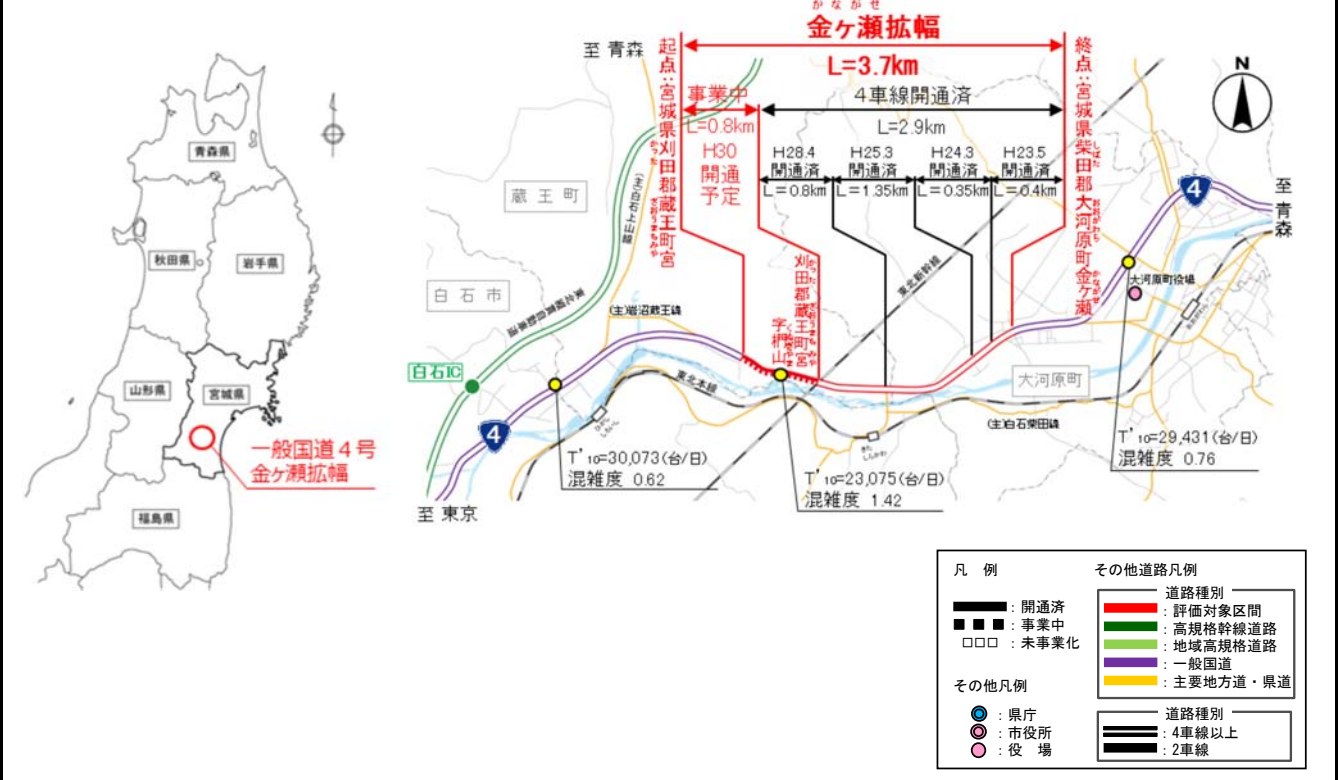


再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道4号 <small>かながせ</small> 金ヶ瀬拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県刈田郡蔵王町宮 <small>かつた ざおうまちみや</small> 至：宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬 <small>しばた おおがわらまち かながせ</small>	延長	3.7 km		
事業概要 一般国道4号は、 <small>とうきょう</small> 東京都中央区から <small>あおもり</small> 青森市までの <small>ふくしま</small> 福島市、 <small>せんだい</small> 仙台市、 <small>もりおか</small> 盛岡市等の東北地方の主要都市を結ぶ、延長約874kmの主要幹線道路である。 金ヶ瀬拡幅は、刈田郡蔵王町宮から柴田郡大河原町金ヶ瀬に至る延長3.7kmの4車線拡幅事業である。					
H16年度事業化		H6年度都市計画決定 (H-年度変更)		H17年度用地着手	
				H21年度工事着手	
全体事業費	84億円	事業進捗率	65%	供用済延長	2.9 km
計画交通量	25,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用	(残事業)/事業全体 36億円/93億円	総便益	(残事業)/事業全体 118億円/156億円
	(残事業) 3.2	事業費：31億円/80億円 維持管理費：5.5億円/13億円	走行時間短縮便益：114億円/151億円 走行経費減少便益：1.6億円/1.6億円 交通事故減少便益：2.1億円/3.2億円	基準年 平成25年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 【全体事業】交通量変動：B/C=1.4~2.0(交通量 ±10%) 【残事業】B/C=2.9~3.6(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.6~1.8(事業費 ±10%) B/C=3.0~3.6(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.5~1.9(事業期間±20%) B/C=3.1~3.4(事業期間±20%)					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 (現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される) ②安全で安心できるくらしの確保 (三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる)(現況：28分→整備後：23分) 他4項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 ○宮城県知事の意見 ・「対応方針(原案)」案のとおり継続で異議ありません。 ○以下の団体等から、金ヶ瀬拡幅の整備促進について要望あり ・宮城県(宮城県知事) ・蔵王町(蔵王町長) ・宮城県道路利用者会議(宮城県トラック協会会長) ・国道4号拡幅改良(4車線)建設促進期成同盟会(大崎市長、大衡村長、富谷市長、大和町長)					
事業評価監視委員会の意見 ・対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率65%(うち用地進捗率100%)					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。					
施設の構造や工法の変更等 ・切土法面(切土段数MAX4段)区間について追加の地質調査実施による土層区分の設定切土勾配の見直しを行い、コスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。